

ビジネスマナー講座



No.25 「快気祝い」の品物選び

皆さんは「快気祝い」という言葉を聞いたことがあるでしょうか。「快気祝い」とは「快気内祝い」とも言われて、病気や怪我が全快したことの報告を兼ねて、療養中のお見舞いに対するお礼の品として贈るものです。今回はこの「快気祝い」の品物選びについて見ていきましょう。

「快気祝い」は、従来は自宅に招いて祝宴をもつか、内祝いの品を配るのが一般的でしたが、現在では、病気見舞いに対する「お返し」をするという意味合いが強くなっています。金額的には、お見舞いの半返しを目安

とする方が多いようです。

病気見舞いのお礼（お返し）の品物には、病気が残らない、二度と病気をしない、との願いを込めて、食べ物、使ってしまう日用品など、あとに残らない品物でお礼するのが一般的です。

ある調査によると、「快気祝い」として贈る品物としては飲食物が28%、石鹸・洗剤が22%で、両者を合わせる約50%を占めています。飲食物では日持ちするクッキーなどのお菓子の人氣が高く、お菓子以外では海苔やかつお節、調味料といった食卓の必需品のほか、コーヒーやジュースなどの飲料も人氣が高いようです。

もし入院中に職場の仲間がお見舞いをしてくれたときには、みんなに分けて食べることでできるお菓子や果物、クッキーなどを贈られてはいいかでしょうか。

あるいは、快気のお祝いらしく紅白の餅、赤飯、まんじゅう、紅白の砂糖、

かつお節やだし、乾味セットなど、また、単なるお返しではなく内祝いをおすそわけする心で健康食品（スープ、ジュース）、自然水、お米、干し椎茸などもよいでしょう。

また最近では、相手に好きなものを選んでいただけるカタログギフトを選ぶ方も増えているようです。

表書き（快気の内祝い）は、次のようにするのが一般的です。

快気祝／快気内祝／内祝／全快祝／全快内祝／本復内祝

そして、病気は二度としたくない、再び病気を繰り返さないようにとの願いをこめて、回復しましたのでありがとうございます。今後ともよろしくの心から、紅白結び切りとします。

（現代マナー研究会 南田ひろ子）